





入院診療計画書② 脳血管造影(上腕穿刺2泊3日)

患者ID: 患者ID
 患者氏名: 氏名 様

新規作成日: 新規作成日

日付	1/1	1/2	1/3
	1日目	2日目	3日目
		検査前	検査後
目標	入院生活について理解できる	合併症の症状・所見がない	
	検査について理解できる	安静が守られている	日常生活の注意点について理解できる
注射		 <ul style="list-style-type: none"> 検査前から左腕に点滴をします。 	 <ul style="list-style-type: none"> 検査後は、点滴が落ちきった時点で終了となります。 医師の指示で、検査後も点滴を継続する場合があります。
投薬	 <ul style="list-style-type: none"> 内服中のお薬を確認します。 入院中の内服は、医師の指示で変更になる場合があります。 自己管理の場合は、殻入れとチェックシートをお渡しします。 	 <ul style="list-style-type: none"> 継続指示があるお薬は、食事にかかわらず内服して下さい。 検査時間に応じて、内服薬が変更になる場合があります。変更がある場合は事前にお伝えします。 	
処置	 <ul style="list-style-type: none"> 身長と体重を測定します。 両手首と足の甲の脈拍が触れる場所に印を付けます。 	 <ul style="list-style-type: none"> 検査着に着替えます。 貴金属類や入れ歯ははずして下さい。 	 <ul style="list-style-type: none"> 朝、医師が腕のバンドをはずします。
食事	 <ul style="list-style-type: none"> 食事内容は医師の指示で制限食になる場合があります。 ご希望に応じて、食事の種類の変更ができます。 アレルギー食品がある場合はお知らせ下さい。 	 <ul style="list-style-type: none"> 検査が午前中の場合は朝絶食、午後の場合は昼絶食となります。 	 <ul style="list-style-type: none"> 検査後から、飲水は可能です。食事は安静解除後になります。
清潔	 <ul style="list-style-type: none"> 入浴できます。 浴室、シャワー室の利用時間は9:00~17:00となります。 		
排泄	 <ul style="list-style-type: none"> 一日の排泄回数を覚えておいて下さい。 自室横のトイレをご利用下さい 	 <ul style="list-style-type: none"> 検査前にトイレを済ませて下さい。 	 <ul style="list-style-type: none"> 安静中はベッド上での排泄になります。
安静度	 <ul style="list-style-type: none"> 安静制限はありません。 転倒の危険がある場合には、看護師が付き添います。 		 <ul style="list-style-type: none"> 右手はバンドが外れるまでは安静にしてください。
看護ケア	 <ul style="list-style-type: none"> 体温や脈拍、血圧を測定します。 体調に変化がある場合は、我慢せずお知らせ下さい。 	 <ul style="list-style-type: none"> 検査前に体温や脈拍、血圧を測定します。頭痛や吐き気、手足の動かしにくさの有無を確認します。 	 <ul style="list-style-type: none"> 検査後も体温や脈拍、血圧を測定します。頭痛や吐き気、手足の動かしにくさの有無を確認します。 検査部位の出血の有無や、手のしびれなどの有無を観察します。 カテーテル穿刺部の痛みや手のしびれなどがある場合は我慢せずお知らせ下さい。
確認事項	 <ul style="list-style-type: none"> 検査の同意書を確認します 		 <ul style="list-style-type: none"> 次回外来日をお伝えします。検査結果の説明があるため、必ずご家族と来院して下さい。
指導	 <ul style="list-style-type: none"> 看護師が入院生活について説明します。 薬剤師が服薬指導を行ないます。 		 <ul style="list-style-type: none"> 退院後2~3日は、右手で重たい荷物を持つのは控えて下さい。 入浴は可能です。穿刺部を強くこすらないよう注意して下さい。 穿刺部からの出血、腫れや内出血が見られた場合は受診して下さい。